

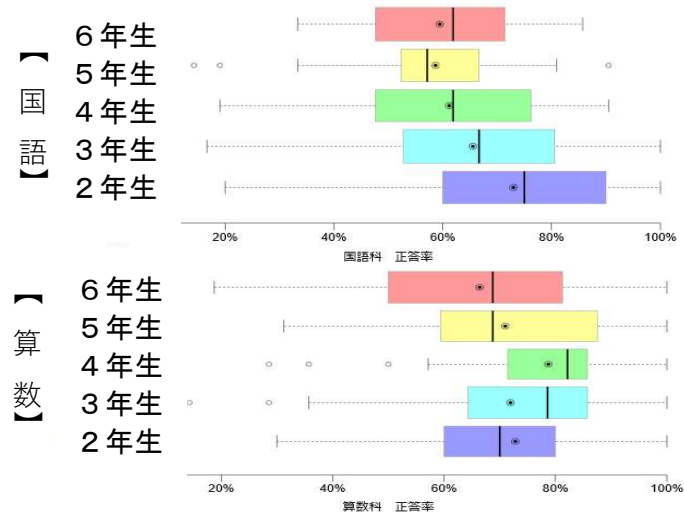
学力向上アクションプラン

重点取組分野		具体的取組
授業改善		①学習の総合化を図る、各学年・各学級等年間指導計画を立てる。学期ごとに実現状況を把握する。②総合的な学習の時間と生活科を中心に、課題解決に向け、自ら考える・共に考える活動を意図的・計画的に位置付けた授業をつくる。③「自分づくりの力」を育てる、二期制のよさを生かした教育課程を編制する。
担当	E研教育評価部	

学力向上に関わる本校の状況

令和3年度「横浜市学力・学習状況調査」(現在3・4・5・6学年児童対象)の結果では、生活意識調査の設問「学校の授業は分かりやすいか」で「よく分かる」「だいたい分かる」と回答した児童の割合は、調査対象の全学年で70%を超えていた。過去3年間、同程度の割合の回答であり、一人ひとりの子どもの実態を捉えた指導を継続して心がけた成果だと考える。

学力調査の結果では、国語科・算数科における各学年の学力層の状況は、次のとおりである。



2・3・4・5年生(現3・4・5・6年生)は、どちらの教科も、C・D層が幅広く分布している傾向がある。補充的な指導を行う際には、少人数に分けたり複数のワークシートを作成したりして指導する必要がある。同時に、算数科では、2・3・4・5年生(現3・4・5・6年生)に正答率100パーセントを含めたA層の児童がいることから、発展的な指導を行う必要もある。

生活意識調査の設問「『横浜の時間』で学ぶことが好きか」では、「好き」「どちらかといえば好き」と回答した児童は、現在5・6年生どちらも90%を上回っている。生活科と総合的な学習の時間を、校内の研究内容として取り組んでいる成果が表れている。

今年度の目標

課題解決の過程で、知識と経験を結び付けたり、他の考えにふれて自分の考えを広げたり深めたりする資質・能力を育成するとともに、自分づくりの力を効果的に育成する教育課程を編制する。

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期

【具体的取組①】

5月…学級・学年、専科等の経営方針及び年間指導計画を立てる。

7月…1学期の経営方針と年間指導計画の実現状況を把握し、2学期の取組を検討する。

【具体的取組②】

5月…総合的な学習の時間及び生活科の年間指導計画を立てる。

6月…総合的な学習の時間及び生活科等の授業研究会を3回実施し、授業づくりについて追究する。

【具体的取組③】

4月…二期制検討委員会(教務会)で、検討計画を立てる。

4月～6月…ブロック学校運営協議会(4月)と西寺尾小学校委員会(5月)、学校説明会(5月)、学校だより(6月)で、二期制の移行について説明する。

4月～7月…二期制検討委員会で二期制に関わる素案を作成し、職員会議で検討する。

下半期

【具体的取組①】

12月…2学期の経営方針と年間指導計画の実現状況を把握し、3学期の取組を検討する。

3月…1年間の経営方針と年間指導計画の実現状況を把握し、成果と課題を明らかにする。

【具体的取組②】

11～1月…総合的な学習の時間及び生活科の授業研究会を3回実施し、授業づくりについて追究する。

2月…児童が1年間の総合的な学習の時間及び生活科で学んだことを、「まなびのひろば」で、全校児童、保護者、地域に発信する。

【具体的取組③】

4月…二期制検討委員会(教務会)で、検討計画を立てる。

8月～12月…二期制検討委員会で二期制に関わる素案を作成し、職員会議で検討する。

1～3月…ブロック学校運営協議会の西寺尾小学校委員会(1月)、懇談会(2月)、学校だより(3月)で、二期制の具体的な内容について説明する。